

【一般質問】 コミュニティスクールについて

本年度より下妻市は、コミュニティ・スクール「地域とともにある学校」を導入する学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組む仕組みであり、令和5年度に先行してパイロット校5校で導入、令和6年度より全小中学校で導入される

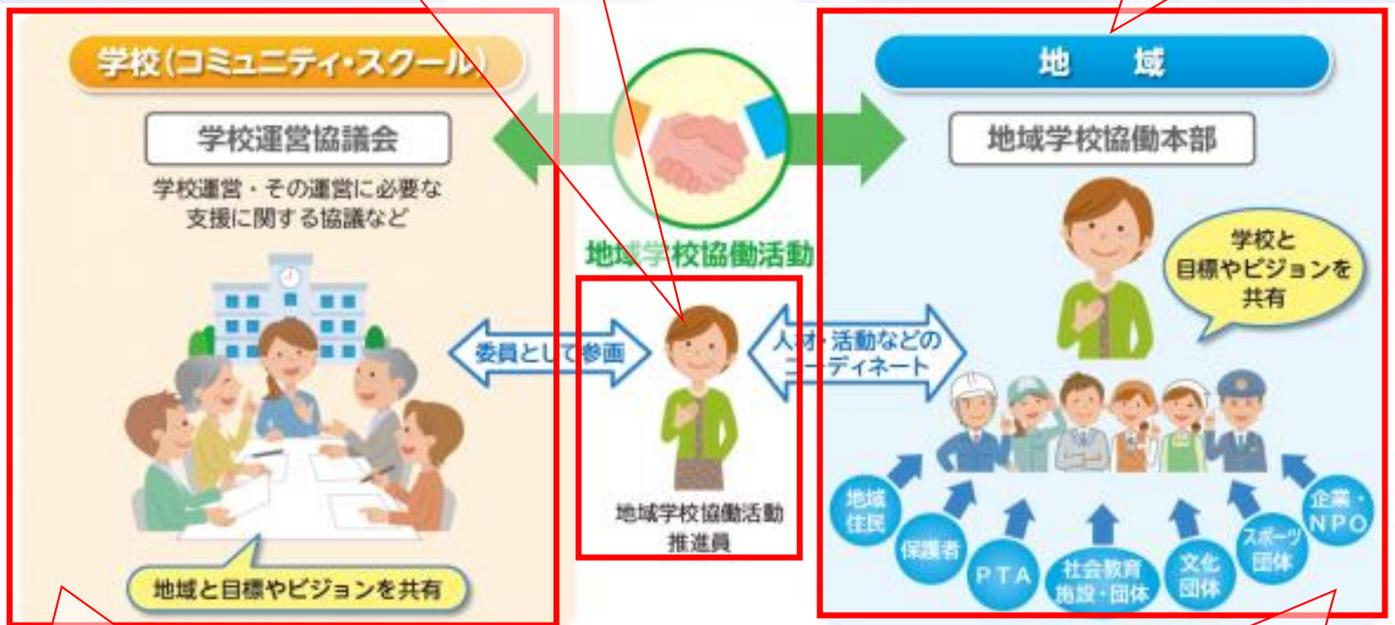
質問の趣旨：「地域とともにある学校」の目的達成のためには、地域の課題が何であって、どのようなことを実現していくべきなのか **ビジョン示すことのできる地域の人材が主体的に関われる仕組みづくりが必要**と考えるので、そのための体制の確認や提案を行いました。

質) 地域学校協働活動推進員 誰が? 何を行うのか?

答) 学校長の推薦に基づき、教育委員会が委嘱(地域の人材と活動のコーディネートする重要な役割 地域に広い人脈を持ち、学校関係者とも円滑にコミュニケーションが取れる方をお願いしたい)

質) コミュニティ・スクール下妻モデルの特徴は?

答) 各学校に**地域学校協働本部**を置くことです。(地域学校協働本部を置かない自治体もある)



質) 地域の課題や何を実現していくのか **ビジョンを示すことのできる人材の参画が必要**、そのための仕組みは?

答) **学校運営協議会**がその仕組みでございます。地域の 方々や学校の教職員などで組織される学校運営協議会は、地域と学校が熟議を通じて意思を形成する場、連携協働の基盤。

質) 地域学校協働本部の構成員 誰が? 何を行うのか?

答) 地域にお住まいの方、保護者やPTA、社会教育団体、文化団体、スポーツ団体、企業、NPO などから人材を得て、協力していただくことを期待しております。

質) 地域学校協働本部、構成員の**公募**などの考えあるか?

答) 不特定多数の方を対象とするような公募は考えておりませんが**広く地域の方を対象に、そういった方々にご協力を求めていきたい**と考えております。

まとめ・要望) **やりたい人、考えがある人、ビジョンがある人、そういう人たちが 主体的に関わって**いける仕組みを構築していただきたい。

公共交通(相乗りタクシー・モビリティブレンド)について

令和2年第一回定例会で提案した「乗合タクシー」の法整備が進み、導入事例も散見されるようになってきた、今回、千代川地区の公共交通施策として「タクシー利用券の拡充」が行われるのに合わせ、再度提案するとともに取組の経緯を確認した。

質問) 配車アプリ等を通じて、目的地の近い旅客同士を運送開始前にマッチングし、タクシーに相乗りさせて運送する「相乗りタクシー」(を毛細血管とし)既存の公共交通(を大動脈として組合わせた)モビリティブレンドを実現し、下妻の公共交通政策とするべきと考えるが、導入の考えは?

答弁) アプリケーションの運用が必要、運用されているマッチングアプリがあるが本市はサービス提供のエリア外、タクシー会社のシステム導入、利用者のニーズがあるのかが課題、現時点で導入の考えはないが地域交通補完の有効な手段と認識、調査研究を進めてまいります。

質問) システム導入のハードルは高くないと考える、アプリも多くあるし、下妻市ではLINE機能の拡張によりサービスの拡充を図る「スマホ市役所」を進めていくとのことだが、この取組の中でも可能なのでは?

答弁) 現段階では市公式LINEの拡張機能は活用できない状況でございますので、相乗りタクシー制度自体の導入と合わせ、引き続き調査研究を進めてまいります。



まとめ・要望) 簡易安価に配車システムを構築する方法はあると思うので、検討願います。

サンビーチ跡地について

質問) サンビーチ跡地の今後の設置管理運営を行う事業者の公募について、1位2位の事業者が辞退を表明した、県は事業者の再公募も考えていると報告を受けたが、時期・内容等、詳細を問う

答弁) 再公募の時期や内容については、詳細は決定していない(公募要件の見直しが必要か検討の見込み)

質問) サンビーチ跡地開発は長期化(すぐには着手されない)様相を呈してきたと思われる。そこで所有権の移転登記(市から県開発公社へ)の先行実施を再度提案する。

答弁) 今後も地元自治体として県と協力し、事業者決定まで(下妻市が)適正な管理に努めたい。

質問) 公共施設等適正管理推進事業債という公共施設老朽化対応の事業債がある、この事業債を活用して県開発公社がサンビーチ解体を行うことは可能か?

答弁) 公益財団法人である茨城県開発公社は当該事業債を活用することは出来ない。

まとめ・要望) 先ほどの質問とも関係してくるが、所有権をずっと下妻市に留めて管理するのは適正でないとする、民間事業者を探す時期もどこかで期限を区切って、解体なりすべきと考える。



これまで慣れ親しんだ議場での最後の議会が終わりました。やはり感慨深いものがあります。

私も15年間この場で議論をしてまいりました、一人会派の活動は自由に自分の考えで発言できる反面、意見が通らないことが往々にしてあります。しかしその中でも実現できたことがあり、議会の意思形成に影響を与えることも出来たと思っています。

次の議会から議場は変わりますが、初心を忘れず活動を続けます。